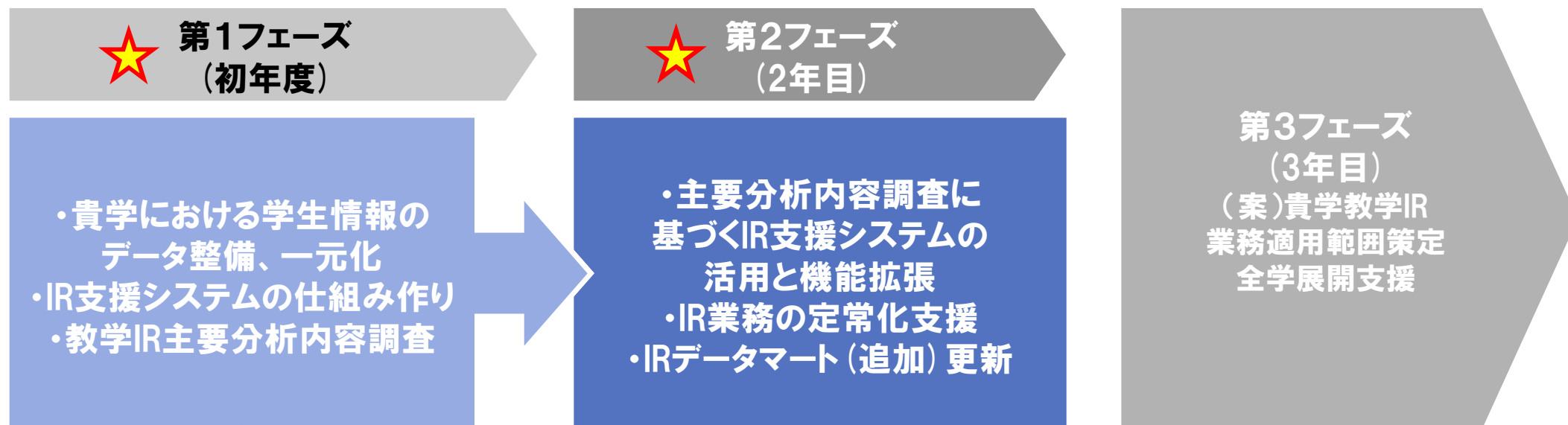


1. 弊社における教学IR業務支援の基本的な進め方【提案例】

- 学生情報分析を基にした学習支援・学生生活支援の強化を図るためには、①現状の学生情報のデータ整備（調査）および分析から始まり、②分析結果を基にした支援システム（ツール）の検討、③教学IR業務適用範囲策定に至る、フェーズド・アプローチが必要であると考えます。



- 貴学の保有する学生情報(出席、成績、履修、課外活動、就職等)の現状調査
- ※基幹システムのDB構成、等
- 貴学における主要分析内容調査

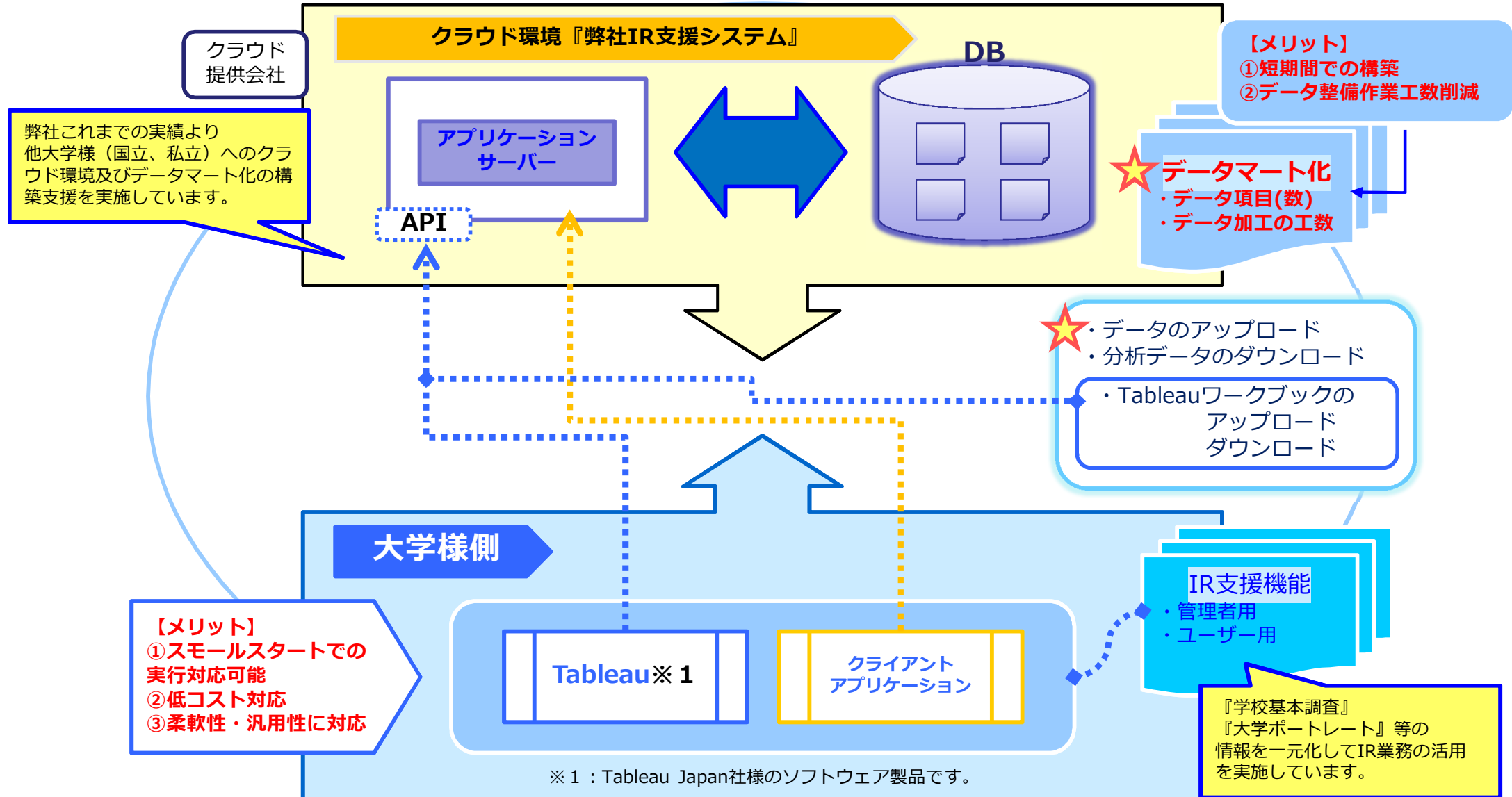
- 第1フェーズにて構築した支援システムを基に、定常的な分析業務に必要なデータ項目整備
- 必要な分析手法の機能拡張の検討

★ 凡例：重点実施項目

- 第1フェーズにおいては、貴学におけるIR業務支援システムの仕組み作りを構築してIR業務の効率化を重点に実践しエンドユーザー層からエキスパート層まで幅広く活用できるIR業務の定常化を図ります。

2. 弊社における大学IRソリューションクラウド化イメージについて【実績例】

- 弊社これまでの実績によりIR業務支援が効率よくできる仕組みをご提供いたします。①IR業務分析用データマート早期構築支援、②クラウド環境を採用したIR支援システムのご提供を行いIR業務適用領域を教学IRからの『スモールスタート』のアプローチでご提案いたします。



3. 弊社における大学IRデータマート化構築イメージについて(基本的な考え方)【実績例】

- 弊社これまでの実績によりIR業務支援が効率よくできる仕組みのご提供とIR業務用データマートの構築手法を下記イメージ図にて示します。

